

第1学年生活科学学習指導案

1 単元名 「とびだせあそびたい あきといっしょ」

2 単元について

本学級の児童は、虫や草花などの自然物を好む児童が多く、四季の変化への関心も高い。休み時間には、折り紙遊びやお絵かきなど何かを作ったり、作ったものを使って遊んだりして過ごす児童が多い。他者との関わり方では、友達が泣いているときや一人ぼっちでいることに気づくと自然と声をかけたり、一緒に活動したりすることができる。しかし、自分の気持ちや考えはすべて相手に伝わっていると思ひ込み、自分の想像通りの反応がないことに対して怒ったり、落ち込んだりする児童もいる。班などの少人数での話し合いの場面では、発言力のある児童の意見にまともになっていくことが多い。また、クラス全体の話し合いの場面では相手の考えや理由を十分に聞いて考えをまとめていこうとする力はまだ弱く、すぐに多数決やじゃんけんで意見をまとめようとするところがある。

本単元は、遊びを通して身の回りの人々や自然、生き物の様子に関心を持ち、夏から秋への季節の変化に気づいたり、施設の公共性に気づいたりすることをねらいとしている。自然物への関心が高い児童にとって、自然物を生かしたおもちゃや飾りを作ったり、それらを使った遊びを体験したりすることができる本単元は、児童の自然物や季節の変化への関心をさらに高めることができる単元だと言える。また、人と関わる力をつけることもねらいの一つにある本単元は、遊びを通して、約束やルールを守ることや、相手の立場にたって考えることの大切さに気づかせていくことができ、児童の人権感覚を高めていく上で有意義な単元といえる。

本単元の指導に当たっては、11月に校区の保育園や幼稚園の幼児を招待して一緒に遊ぶ交流会や秋の遠足など学校行事とも関連づけて学習を進めていきたい。また、人と関わる力をつけるというねらいを踏まえ、「グループの友達との協力」という視点も加えた学習を進めていきたい。

本単元での相互作用とは、他者との話し合い活動であり、製作場面をはじめ、単元全体のあらゆる活動において自然に生まれる対話活動である。話し合い場面や自然な対話の中での言葉のやりとりや行動の一つ一つが、自分の「他者との関わり方」を見つめ、考えるきっかけとなり、他者理解を深めるための学習材となると考える。また、相互作用におけるフィードバックしている児童の姿としては、相手の言葉を聞いて、それに対する自分の考えを言葉で伝えたり、相づちなどの行動で意思表示をしたりする姿や話し合っただけで決めたことを次時の活動で実践する姿が考えられる。

3 単元の目標

- 身の回りの自然に興味を示し、自分の生活や遊びの中に取り入れようとする事ができる。
- 草花や樹木、虫などとかかわりながら季節の変化を、五感を通して感じる事ができる。
- 秋にみられる自然材を用いた製作活動ができる。
- 自分なりに遊びを工夫したり、発展させたりしてさらに楽しもうとすることができる。
- ルールを守って友達や幼児と仲良く安全に遊ぶことができる。
- 遊びを通して知った楽しさを、人に伝えたり、絵や文で表現したりすることができる。
- 公共の場所や公共物の使用、公共の場所でのマナーについて考え、実践できる。

人権教育の視点での育てたい力

- ※他者に目を向け、進んで関わろうとする態度
- ※他者の言葉に耳を傾け、何らかの意思表示をする力
- ※友達のよいところやがんばりに気づく力
- ※自分の思いを言葉や絵、文で表現しようとする力

4 単元の計画 全21時間（生活科15時間、体育2時間、学校行事4時間）

時	目標	主な学習活動	児童への支援
1	○本単元の活動の見通しを持つことができる。 ○秋の様子や季節の変化に気づくことができる。	1 本単元の活動の見通しを持つ。 2 校庭に出て、秋を感じさせるものを見つける。	○夏と比較しながら考えさせる。 ◎一人で活動する児童がいないように声かけする。
2 3	○大濠公園で、どんぐりなどを集めることができる。	1 校外活動のめあてを確認する。 2 大濠公園に行くまでの安全な歩き方を知る。 3 どんぐりなどを集める。 4 安全に気を付けて帰校する。	○どんぐりやまつぼっくり探しで困っている児童には個別に声かけする。 ◎一人で活動する児童が出ないように声かけする。
4	○集めたどんぐりなどを使って、簡単なおもちゃや飾りを製作することができる。	1 集めたどんぐりなどでどんなものが作れるか出し合う。 2 製作の手順を知る。 3 製作する。 4 片づけをする。	○実物のおもちゃや飾りを紹介する。 ○用具の安全な使い方を指導する。 ◎協力して製作している児童を誉める。
5	○前時で作ったおもちゃや飾りで、友達と遊んだり、見せ合ったりできる。	1 製作したもので友達と遊んだり、製作した物を見せ合ったりする。 2 交流会について知る。 3 自分が交流会に向けて製作したい物を決める。	○動きやすいように場の工夫をする。 ◎友達に声をかけることができずにいる児童には個別に助言する。
6 (本時)	○グループごとに話し合いをして、交流会への見通しを持つことができる。 ※自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、話し合い活動に参加することができる。	1 グループのメンバーを知る。 2 グループに分かれて、交流会に向けての話し合いをする。 3 振り返りをする。	○活動しやすいようにワークシートを準備する。 ◎話しやすい場を作る。 ◎友達が話し合いに参加しやすいように工夫している児童を誉める。

7 5 11	○名島運動公園で、どんぐりなどを集めることができる。 ○公共交通機関での乗車マナーを知り、守ることができる。	1 遠足のめあてを確認する。 2 名島運動公園に行くまでの安全な歩き方を知る。 3 どんぐりなどを集める。 4 安全に気を付けて帰校する。	○どんぐり探しで困っているときは落ちている場所を助言する。 ◎グループ行動ができていないところに助言する。
12 5 16	○交流会に向けて、これまで集めたどんぐりなどを使って、おもちゃや飾りを製作することができる。	1 グループごとに、製作する。 2 片づけをする。	○製作活動に取り組みやすい場の工夫をする。 ○用具の安全な使い方を確認する。 ◎役割分担や協力体制が上手にできているグループを紹介する。
17 5 20	○保育園や幼稚園の子どもたちと一緒に遊ぶことができる。	1 会場の準備をする。 2 交流会をする。 3 片づけをする。	○児童が何をすれば戸惑わないように準備の手順を確認できるヒントカードを準備する。
21	○活動のまとめをすることができる。	1 これまでの活動を思い出し、振り返りシートを書く。 2 グループで振り返りをする。 3 全体でまとめをする	○振り返りシートを書く時間を保障する。 ◎グループでの振り返りがしやすいように場の工夫をする。

5 本時 2009年10月15日(木) 6/15

6 本時の目標

○グループごとに話し合いをして、交流会への見通しを持つことができる。

※自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、話し合い活動に参加することができる。

7 本時指導の考え方

前時の活動で、児童は幼児との交流会で何のお店を担当したいかを決めている。本時は、自分が誰と同じグループになったのかを知り、グループごとに交流会に向けて、リーダーやお店の名前、どんなお店にするかなどを話し合っ決めて決める場面である。児童の話し合い活動が停滞しないようにするための支援としてワークシートを準備する。

本時学習での相互作用の活動は、グループでの話し合い活動である。この相互作用の活動を通して、話し合い活動では自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることや自分の考えがもてていないときでも、相手の考えに賛成か反対か意思表示をしたりすることが大切であるということに気づかせていきたい。

8 本時の展開

配時	学習活動	児童への支援	評価の視点
1分	1 前時の活動を想起する。		○前時の学習を想起することができる。
2分	2 本時のめあてを知る。		○めあてを理解し、学習への見通しをもつことができる。
グループで、こうりゅうかいにむけてのはなしあいをしよう			
3分	3 グループのメンバーを知る。	○確認しやすいように黒板にネームプレートを貼っていく。	○友達を選ばずに、グループに分かれることができる。
7分	4 グループごとに集まって前後半グループに分かれる話し合いをする。	○楽器グループと人形・かざりグループ、こまグループはグループ全体で前後半に分かれることを伝える。 ○話しやすいように場所を移動させる。 ○小グループごとに机をくっつけて座るように指示する。	○話し合いの進め方を理解することができる。 ○ワークシートの書き方を理解することができる。
5分	5 グループで話し合うテーマとワークシートの書き方を知る。 ＜話し合いのテーマ＞ ① リーダー決め ② お店の名前 ③ どんなお店にするか ・遊びのルール ・作品の置き方など ④ 製作に必要な物 ＜話し合いの約束＞ ① 全員の意見を聞く。 ② 意見が言えないときでも賛成か反対かは伝える。	○楽器グループと人形・かざりグループ、こまグループ以外は、前半と後半のそれぞれのグループで話し合いをすることを伝える。 ○ワークシートの拡大プリントを掲示し、どこに何を書くのかを確認しやすいようにする。 ○直接、遊びをつながりにくいグループは、作るもの以外に遊びを考えてよいことを知らせる。 ○リーダーになった人は、話し合いの報告をする役目があることを知らせる。 ○話し方と聴き方について意識させる。 ○決まったことは、ワークシートに書き込んでいくことを確認する。	○話し合いの進め方を理解することができる。 ○ワークシートの書き方を理解することができる。
15分	6 グループで話し合いをする。	○話し合い活動がスムーズに進んでいるグループを紹介し、話し合い方のヒントにさせる。 ○話し合いが進んでいないグループには、個別について話し合いを進める。 ○リーダーには、報告のためのマニュアルカードを渡し、報告の準備をさせる。	○自分の考えを伝えることができる。 ○友達の考えを聞いて反応することができる。
7分	7 グループごとに、話し合ったことを報告する。	○話し方と聴き方について意識させる。	○他のグループの発表に興味を持つことができる。
5分	8 次時の活動を知らせ、振り返りシートを書く。		